令和８年度　第１回柳井市環境審議会　議事録（要旨）

開催日時	令和８年７月２３日（木）午後１時３０分～午後３時３０分
開催場所	柳井商工会議所　会議室
出 席 者 （敬称略）	委　員：市村　尚之（山口県柳井環境保健所）、樋口　隆哉（山口大学大学院）、柳川　眞知子（山口県地球温暖化防止活動推進員）、山本　澪馬（柳井市議会）、西川　義彦（柳井商工会議所）、藤中　孝子（大畠商工会）、山本　伸一（山口県農業協同組合）、時光　善朗（柳井地区自治会長協議会）、森田　雅和（柳井市快適環境づくり推進協議会）、嬉　静恵（柳井市連合婦人会）、的場　ひとえ（柳井市消費生活研究会） ※欠席：河野　通晴（カワノ工業株式会社）、政田　寛（株式会社宝計機製作所）、弘田　直樹（柳井医師会）、沖田　明子（柳井市歯科医師会）、山本　美穂（柳井薬剤師会）由良　弘次（山口県漁業協同組合柳井支店） 事務局：宮本副市長、髙石市民部長、應潟市民生活課長、浅原市民生活課長補佐、宮田市民生活課主査 事業者：エヌエス環境㈱２名
次　　第	１　開会 ２　会長あいさつ ３　副市長あいさつ ４　議事 （１）第３次柳井市環境基本計画について（諮問） 〇第２次柳井市環境基本計画総括（案）について 〇第３次柳井市環境基本計画策定市民意識調査（結果）について 〇第３次柳井市環境基本計画骨子（案）について （２）その他 ５　閉会

議事概要

１　開会

本委員１７名のうち１１名が出席しており、柳井市環境基本条例」第２７条第３項の規定により会議が成立していることを報告する。

２　会長あいさつ

３　副市長あいさつ

４　議事

（１）第３次環境基本計画の策定について（諮問）

宮本副市長が諮問書を読み上げ、時光会長に手交した。

○第２次柳井市環境基本計画総括（案）について

資料に基づき、現行計画の進捗状況の評価（リーディングプロジェクト各項目の実績、各指標の達成状況、エコ・オフィスプラン達成状況、市民意識調査結果）と総括（案）について説明を行った。

【会長】

ただいま説明のあった部分について、委員の皆様からご意見ご質問等あればお願いしたい。

【委員】

「柳井市の環境」には家庭系ごみと事業系ごみの排出割合が掲載されているが、これはどのように振り分けられているのか。

【宮田市民生活課主査】

清掃センターと柳井市不燃物処理場の各窓口での聞き取りによる。これにより事業系ごみが全て把握できるものではないが、処分場に搬入されたものについて振り分けを行っている。

【應潟市民生活課長】

補足すると基本的に事業系ごみは市の収集業務には通常乗らないので、収集業務として回収されたものは基本的には家庭系ごみである。直接搬入の方は先ほど説明したとおり各処分場にて聞き取りを行っており、おおよその振り分けはできている。

【委員】

事業系ごみの排出量が半分近くを占めており、市民の方の成果（家庭系ごみの減少）が見えづらくなっている。家庭系と事業系の区別がどれだけついているかということもあるが、家庭系ごみが減少しているという成果を示せば、さらなる取組への意欲に繋がるのではないか。

【委員】

ごみの適正処理について、スプレー缶は爆発事故を引き起こす可能性があることから、穴をあけずに出すという認識が広まっているが、本市のルールによれば穴あけが必要となっている。周知の必要があるのではないか。

令和６年から実施されている柳井クールステーションについて、まだ市民の認知度が低いように感じる。大型店舗は利用者がおられるかもしれないが、地域の小型店舗や事務所の利用はほとんどないのではないか。また、高齢者の方がいつまでも居座ってしまうという事例も耳にした。本市では１５分程度の休憩としているということだが、事業や利用方法等についてどのように周知を行っていく予定か。

【宮田市民生活課主査】

スプレー缶の出し方については、現在作成しているごみ出しガイドブックの中にも記載し、穴あ

けを行っていただくようお願いをしている。今後も事例を踏まえながら、適正な処分の方法を随時検討したい。ただし、高齢者の方からの問い合わせも多いため、直接搬入いただければ回収する運用としている。

柳井クールステーションについて、ご指摘のとおり周知しきれていないところもあるが、のぼり旗を目印に実際にご利用をいただいたという事業者の声も耳にし、少しずつ定着している感触も得ているところである。本市では店舗が少ないエリアも多いことから事業所のお力もお借りしながら継続し、浸透させたいと考えている。

【委員】

クールステーションの一覧表は出ているのか。

【宮田市民生活課主査】

柳井市ホームページに掲載している。

【会長】

いろいろと良い取組をしておられるが、より多くの市民の方に知っていただき、正しく利用いただくためにも、周知をしっかり行う必要がある。利用者の声を取り上げて使用方法を知っていただく方法も考えられる。情報発信の仕方も工夫しながら周知をお願いしたい。

【委員】

環境に関する用語は横文字が多く、イメージがわき辛い方も多いのではないか。市民の方にご協力いただくためには、わかりやすくなるような工夫をしながら効果的な情報発信を行っていただき、地球温暖化を乗り切りたい。

【委員】

クールステーションについてもわかりやすく発信いただきたい。また、自治会といったグループで共有するなども有効ではないか。

【会長】

市民に伝える際の意識として必要である。フードドライブや BOD といった言葉が出ていたが、イメージがわく市民ばかりではない。日本語表記を付記するなど、できるだけわかりやすくなるよう工夫いただきたい。

【委員】

環境学習について、参加者は増加しているが関心は低くなっているとの相反する結果が出ている。参加されない方に対して関心を広げていく戦略についてはどうか。

また、パートナーシップの推進について、参加されている方も徐々に高齢化して参加が難しくなっていく。参加者の維持のためにどのような対策を検討しておられるのか。広報活動を行うにあたっては書いてありますではなく伝える工夫を行う必要がある。

【委員】
「柳井市の環境」内のごみ処理経費について、令和６年度に増加しているのは何か原因があるか。

【應潟市民生活課長】
ごみ処理経費の中には清掃センターを運営する周東環境衛生組合への負担金が含まれており、令和６年度及び令和７年度の増加については、その清掃センターの施設改修に伴う負担金の増加が要因としてある。

【委員】
では、令和８年度以降は３億円程度の水準に戻ると考えてよいか。

【應潟市民生活課長】
そのように考えている。

【委員】
河川水質の環境基準達成率（ＢＯＤ）について、土穂石川のＡ類型が未達成だが、今後改善策はあるのか。

【宮田市民生活課主査】
農業集落排水の供用開始以降数値は減少・安定しており、引き続き農業集落排水への接続を推進することにより改善が図られるものと考える。

【会長】
エコ・オフィスプランの達成状況表の中で灯油使用量が令和５年度から増加しているが、何か原因があるか。

【應潟市民生活課長】
指定管理をいただいている市有施設の結果も含まれている。灯油量の増加についてはアクアヒルやないの温水プールの室温が低いとの指摘があり、設定温度を上げる等の対応を行ったことが要因として挙げられる。

【会長】
昨今の事情を鑑みると、油の使用量が減少しても費用が増加することも考えられる。たいへんとは思うが、エコ・オフィスプランの推進に引き続き務めていただくようお願いする。

【委員】
汚水処理人口普及率に関し、新たな処理施設の計画はあるか。また、ない場合は人口が増加しない限り普及率は上がらないと思うが、どのように対策を立てておられるのか。

【宮田市民生活課主査】

処理施設の予定はなく、現在は既存施設への接続と合併浄化槽設置への補助による普及を進めている。

○市民意識調査（結果）について

※時間の都合により説明は割愛し、配布した資料を各自ご確認いただくこととした。

○第３次柳井市環境基本計画骨子（案）について

資料に基づき、次期計画骨子案（概要、スケジュール、章立て等）について説明を行った。

【委員】

ＳＤＧｓは２０３０年が目標となっているが、その後の扱いをどう考えるか。現時点では大きな指標であり、あっても良いとは思われる。

第１１章に計画の見直しの項目を設けておられるが、どのような内容を想定されているか。計画途中での見直しについては盛り込まれるか。１０年間となるとかなり変化が加わり、目標値にもずれが生じる可能性があるため、見直しを行うかどうかに関わらず進捗状況の評価を行うなど途中で議論する場があると良いのではないか。

【委員】

総合計画は前・後各５年として、中間とりまとめを行うこととされている。環境基本計画についても整合を取るため、５年で見直しを行うこととしてはどうか。

【宮田市民生活課主査】

進捗管理等を含め振り返りの場は必要と思われる。どのような位置づけで行うか検討したい。

【会長】

次の会議は１０月に開催となるが、資料は早めに送付いただきたい。

周辺にクマやシカが出没する環境をどのように考えるか。また、アンケートでも結果がでているように地球温暖化対策は大きな関心事となっている。こうした課題を次期計画に反映させていく必要があるとともに、思わぬ事故などが引き金となって環境悪化に繋がることもあるため、しっかり検討をしていきたいと考えている。

【委員】

この会議は立場が違うメンバーで構成されており、専門家だけが議論する場ではなく、いろんな立場からのご意見をいただく場である。今回で現行計画についての振り返りができたので、これを踏まえて次期計画に繋げていけばより良い計画になるのではないか。

（２）その他

事務局より、中国電力柳井発電所第２号系列リプレース計画に関する環境アセスメント手続き（準備書）に対する市長意見を求められている件について、環境審議会の開催と日程（案）を案内した。

※会議後、資料を事前配布した。（欠席者には後日送付）